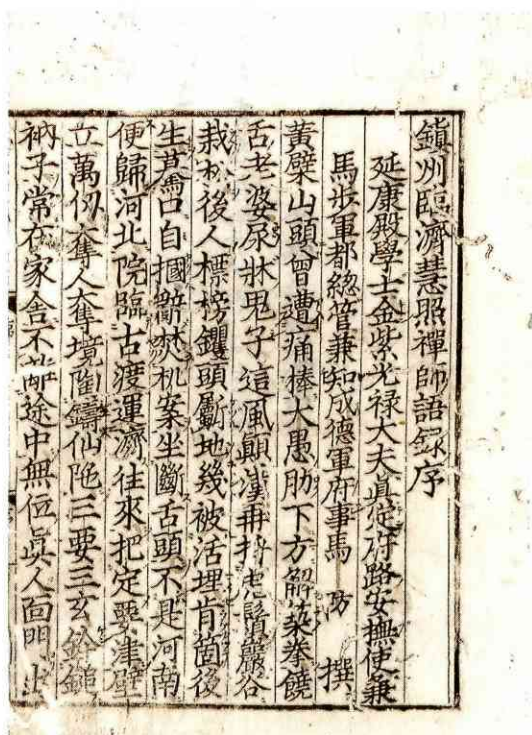


草 見 散 香

1988
10号



目 次

☆小説と読者	1
☆館蔵資料紹介マラルメ訳「ポー詩集」	4
☆東洋紡経済研究所旧蔵文献について	7
☆書籍を買い尽くした遣唐使	8
☆朝鮮通信使の煙管と煙芸の図	14
☆地動説に思う	16
☆図書分館の地域社会への開放	17
☆テネシー物語	18
☆“清原の涙”を考える	20
☆何でも見てやろう	23
☆父とのめぐりあわせ	24
☆First OCLC user in Japan.	26
☆近畿大学逐次刊行物紹介	28
☆図書館日誌抄・編集後記	29

香散見草

山里の軒はにさけるかさみくさ

色をも香をも誰みやはさん

(蔵玉和歌集)

●表紙

館蔵

五山版「鎮州臨濟慧照禪師語録」

永享九年八月十五日

板在法性寺東経所

中央図書館日誌抄

- 4月2日
大阪弁護士会より弁護士3名集密書庫見学
- 4月11日
九州工学部図書館、地域住民に図書貸出しを開始
- 4月14日
布施税務署長 図書館稀観書を見学
- 4月27日
湯浅学助教授（理工総合学研究所）天文学会賛助出展書籍の件で河合教授（稀観書室兼務）、竹内図書館総務課長と最終打合わせ
- 5月11日
昭和63年度第1回西地区作業委員会開催
委員10名参集
- 5月17日～19日
天文学会十一月ホールに於て開催（稀観書24点賛助出展）
- 5月30日
私立大学図書館協会より来年度第50回総大会の会場当番校依頼
- 6月4日
中國薬科大学副校長 巖永清氏 稀観書（薬草本関係）見学
- 6月8日
私立大学図書館協会第50回総大会開催当番校承諾の返事をする
- 6月21日
文部省視學員実地視察委員3名、文部省事務官2名10時～16時実地視察
- 6月22日
東洋紡績中央研究所より貴重図書・資料寄贈を受く
- 7月27日～29日
昭和63年度第49回私立大学図書館協会総大会（拓植大学八王寺校舎）後藤館長以下6名参加、来年度近畿大学にて開催の挨拶をする

- 7月27日～8月11日
昭和63年度（夏季）通信教育部司書課程学生図書館実習（20名）
- 8月5日
中国科学院廣州化学研究所所長 叢廣民氏
稀観書（化学関係）見学

編集後記

9号を手にして表紙の色の失敗にあわてる。しかし今更どうしようもなく、次号からは色校正も必要と、又一つ勉強をする。

10号は多くの原稿をいただき編集委員一同レイアウトに嬉しく苦心をする。

化学の宗像先生には毎号すばらしい原稿を頂戴し、その都度新しい分野を覗かせていただく。今後もユニークな原稿をお寄せくださるよう切に願っている。

九州工学部学部長 本郷先生より図書館を地域に開放したことの意義についてコメントをいただく、地方だからこそ出来るといえはそれまでが大変な英断と頭が下がる。2ヶ月経過後の反響も上々で新聞に大きく報道される。今後益々の発展を祈る。

編集委員 河合忠信 深貝幹雄 白川信也
久保遊亀江 永井恵美子 牛島 裕

近畿大学中央図書館報 香散見草 10号

1988年10月発行

編集・発行 近 畿 大 学 中 央 図 書 館

〒577 東大阪市小若江3丁目4番1号

TEL.(06) 7 2 1 - 2 3 3 2